

書けるように工夫をこらす。

㊦ 単元ごとに出来ばえの良い作品ともうひと工夫を要する作品とを批評し合い、次の単元ですらによい作品が作成されるように奨励し、地理的事象が明確にとらえられるようにする。

② 検証授業計画

社会科学学習指導案 (検証授業計画)

1. 単元名 近畿地方

指導計画 (総時数 6 時間)

ア 自然の特色と歴史的背景…… 1 時間

イ 阪神工業地帯とその周辺…… ”

ウ 近郊農業地域…… ”

エ 奈良と京都…… ”

オ 紀伊半島の産業…… ” (本時)

カ 琵琶湖の利用と開発…… ”

2. 本時の指導

ア 題材

イ 本時の目標

- ・ 紀伊半島における産業の特色や問題点について、その地域性を把握し課題解決をはかる。
- ・ 山地と海岸に生きる人々の生活の実態を理解する。

3. 指導過程

段階	学習内容・活動	主な作業学習	時間 形態	指導上の留意点 資料△
課題把握	1. 本時の学習課題を確認する。		10 斉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題について共通理解をはかる。 △ 略地図黒板 △ 地図帳
	紀伊半島の産業の特色や問題点にはどんなものがあるか。			<ul style="list-style-type: none"> ○ 共通性について、図書室で学習した「調べ方学習」の成果を発表させる。
課題解決の見直し	○ 南九州と南四国とを対比して産業の共通性について発表する。		30 小集団 (一斉)	
	2. 紀伊半島の産業	○ 自作の略地図にみかんの分布を着色する。		<ul style="list-style-type: none"> ○ 有田川、紀ノ川を中心に、みかんの分布図がかけ、他地域との比較ができたか。 △ 自作 T.P.シート
	○ みかんの栽培について調べた内容をグループで確かめ合い、発表する。			○ 分布略図を利用し、
	○ 立地条件			
	○ 生産高や主な生産地			
	○ 問題点や対策			

課 題 追 求	小 集 団 (一 斉)	小 集 団	7 斉	個人	3 一 斉
<ul style="list-style-type: none"> ○ 水産業について調べた内容をグループで確かめあい発表する。 ・ 沖合漁業、遠洋漁業の根拠地 ・ 養殖水産地 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 略地図に漁業基地を書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「串本節」をテープで聞かせ、漁港の雰囲気を少しでもわからせたい。 △ 録音テープ (串本節) △ T.P.シート ○ 漁業基地を確認させ養殖水産物についてもふれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 和歌山県の生産高がなぜ、第4位の地位に下がったのか、そして、今どんな対策がとられているかを資料などから考えさせる。 △ 県別生産高と生産地 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 吉野杉を中心に、林業の立地条件や特色、あるいは問題点についてグループで十分に話し合いさせ、全体討論の中で理解を深める。 △ 吉野杉についての「短文」 △ 教科書資料 ○ 教師の補足説明で理解の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ノートに整理し内容をまとめる。 ○ ノートに要点をまとめさせ、中位、下位の生徒を対象に発表させて評価のめやすとしたい。 ○ 机間巡視によって個別指導を図り、自ら考える力を得させたい。 ○ ダムの建設による電源開発と山村が観光地に変ぼうしたことに着目させる。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 林業について調べた内容をグループで確かめ合い発表する。 ・ 地形・気候などの条件 ・ 林業の特色 ・ 立派な林業地域—歴史的背景 ・ 林業労働の様子や問題点 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 略地図に林業の分布を着色する。 				
3. 産業の特色や問題点についてまとめる。					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 今までの学習を確認し、ノートにまとめる。 ○ 要点を数名が発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ノートに整理し内容をまとめる。 				
4. 次時の学習課題を把握する。					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 熊野川、吉野川の電源開発と地域の変貌。 					